

最明寺本宝物集総索引稿 (三)

漢字索引

漢字索引凡例

- 一、本漢字索引は最明寺本宝物集に用いられてゐる統一の漢字を取め部首別に排列したものである。字体は新字体に従つた。
- 二、各の標出字は旧字体の排列とし、新字体は標出字の下に(へ)で包んで示した。排列は榮田猛猪他著「大字典」に基き、先ず部首によつて排列し、同一部首の中では画数の順による。尚、標出字の頭に「大字典」に附してある通し番号を附した。「大字典」に無いものは所定の部首において同画字の中の最後に排列した。新字体と旧字体とで部首等の異なる場合は、新字体の所定の位置に空見出しをたてた。(例) 301 舎 ↓ 「組合」
- 三、宛字等も底本の表記のままに採つた。その処理は、用例は宛字等の字体の所に掲げる。別に正用字を掲げるが、これは空見出しとし、そこから宛字等の項を参照するようにした。(例) 20 伴 ↓ 例并
- 四、用例は一概に示さず、その漢字を含む語の「語彙索引」へ自主語は「鎌倉時代語研究」第一輯、附属語は同二輯に所掲(における見出し語を参照する形式を採つた。その際に、漢字一字で一単語の場合は標出字の下部に語彙索引の見出し語形を、二字以上で一単語の場合は底本に用いられてゐる漢字の熟字形とその語についでその語彙索引の見出し語形とを対照し、見出し語の五十音順にそれらを排列した。尚、経典等から引用した語句中の漢字が少くないが、その場合は一字一単語のもの後に、引用句として排列した。

一部

- 一期 引阿句
- 一期 いちご
- 一五百生 いちごひ
- やくしやう
- 一善 いちぜん
- 一代教主 いちだい
- けうしゆ
- 一条院 いちぢやうゐん
- 一天下 いちてんか
- 一度 いちど
- 一日 いちにち
- 一日一夜 いちにち
- いちや
- 一念 いちねん
- 一年 いちねん
- ととせ
- 一の人 いちのひと
- 一百由旬内 いちひゃくじゆうちうない
- やくゆじゆんばい
- 一品宮 いちほんみや
- みや
- 一枚 いちまい
- 一文字 いちもんじ
- 一兩首 いちりやうしゆ
- 一向 いつかうに
- 一国 いつこくに
- 一切 いつさい
- 一切経 いつさいきやう
- 一切衆生 いつさいしゆじやう
- しゆじやう
- 一今 ひとつせん
- 一返(遍)宛字 ひとつへん
- 九十一劫 くいじやくちゆう
- ちゆう
- 後一条 ちゆういちぢやう
- 小一条右大将斎時 せういちぢやうだいじやうさいじ

菅原範夫

こいちでうのうだ  
いしやうなりとき  
小一条院 こいちで  
うのぬん  
後一条院 ごいちで  
うのぬん  
三條院一品宮 さむ  
でうぬんいちほむ  
のみや  
七令一 しちぶんが  
いち  
第一 だいいち  
一京 ひときやう  
一人 ひどり  
七月 しちぐわち  
七歳 しちさい  
七十 しちじふ  
七条殿 しちでうど  
の  
七度 しちど  
七分一 しちぶんが  
いち  
七室 しちぼう  
千七百人 せんしち  
ひやくぼん  
七日 なぬか  
六七月 ろくしちぐ  
わち  
千坪万年 せんねん  
まんねん  
二万 にまん

二万郷 にまんがう  
二万人 にまんじん  
八万四千 はちまん  
しせん  
万機 ばんき  
万物 ばんぶつ  
百万返(過ノ宛字)  
ひやくまんべん  
万法 まんぽう  
引用句 しん  
火しやう三昧 くわ  
ちやうさむまい  
後三條院 ごさむで  
うのぬん  
西三條大將 さいさ  
むでうのさいしや  
う  
三月 さむぐわち  
三教指輝 さむげう  
しくみ  
三十三 さむじふた  
む  
三車 さむしや  
三尺 さむしやく  
三世 さむぜ  
三途 さむづ  
三條院 さむでうぬ  
ん  
三條院一品宮 さむ  
でうぬんいちほむ  
のみや

三毒 さむどく  
三人 さむにん  
三君 さむのみみ  
三室 さむぼう  
三位中将師房 さむ  
ぬのちうじやうし  
ぼう  
善無畏三蔵 ぜんむ  
ぬさむざう  
第三 だいさん  
引用句  
上(淨ノ宛字)衣  
じやうえ  
上西門院 じやうさ  
いもんぬん  
上東門院 じやうとう  
もんぬん  
天上 てんじやう  
無上 ぶじやう  
無上尊 ぶじやうそ  
ん  
無上菩提 ぶじやう  
ぼだい  
一天下 いちてんか  
下第 げだいい  
下つ道 しもつみち  
天下 てんか  
不 ぶ  
引用句  
大聖不動尊 だいし  
やうふどうそん  
不輕菩薩 ふぢやう  
ぼさつ

不淨 ふじやうなり  
不審 ふしん  
不動尊 ふどうそん  
20且 かつは  
25世 引用句  
惡世 あくせ  
阿闍世王 あじやせ  
わう  
救世 ぐぜ  
現世 げんせ  
後世 ごせ  
三世 さむぜ  
十方世界 じふぱう  
せかい  
出家遁世 しゆつけ  
とんせいす  
世跡 せそ  
大聖無量壽菩薩 だい  
しやうくわんぜ  
おむぼさつ  
大聖世尊 だいしや  
うせそん  
濁世 ちよくせ  
二世 にせ  
世中 よのなが  
けうとむ比丘尼 け  
うどむびくに  
指鬘比丘 しまんび  
く  
善星比丘 ぜんしや  
うびく  
比丘 びく

六軍比丘 ろくぐん  
びく  
九条加叅相 くでう  
のうじようしやう  
一 一  
引用句  
藥中 きむちう  
三位中将師房 さむ  
ぬのちうじやうし  
ぼう  
大納言中宮大夫能信  
だいながんちうぐ  
うのたいふよしの  
ぶ  
中胤 ちういん  
中育 ちうう  
中堂 ちうだう  
中納言善懷 ちうな  
ごんよしちか  
照中将 てるのちう  
じやう  
成信中将 なるのぶ  
のちうじやう  
業平中将 なるひら  
のちうじやう  
業房中将 なるふさ  
のちうじやう  
備中国 びちうのく  
に  
社把殿中宮 しばだ  
のちうぐう

九下  
一天下 いちてんか  
下第 げだいい  
下つ道 しもつみち  
天下 てんか  
不 ぶ  
引用句  
大聖不動尊 だいし  
やうふどうそん  
不輕菩薩 ふぢやう  
ぼさつ

26丘  
けうとむ比丘尼 け  
うどむびくに  
指鬘比丘 しまんび  
く  
善星比丘 ぜんしや  
うびく  
比丘 びく

九下  
一天下 いちてんか  
下第 げだいい  
下つ道 しもつみち  
天下 てんか  
不 ぶ  
引用句  
大聖不動尊 だいし  
やうふどうそん  
不輕菩薩 ふぢやう  
ぼさつ

九下  
一天下 いちてんか  
下第 げだいい  
下つ道 しもつみち  
天下 てんか  
不 ぶ  
引用句  
大聖不動尊 だいし  
やうふどうそん  
不輕菩薩 ふぢやう  
ぼさつ

九下  
一天下 いちてんか  
下第 げだいい  
下つ道 しもつみち  
天下 てんか  
不 ぶ  
引用句  
大聖不動尊 だいし  
やうふどうそん  
不輕菩薩 ふぢやう  
ぼさつ

林園中納言保光 も

もそののちうばこ

んやすみつ

世中よのなか

1ノ部

69 丹

丹後守為忠朝臣 在

んごのかみためた

たあそむ

70 主

一代教主 いちだい

けうしゆ

願主 ぐわんしゆ

教主 けうしゆ

座主 ざす

主基 しゆき

大因教主 だいこん

けうしゆ

1ノ部

87 乃

乃 引用句

乃 往過去 ないわう

くわこ

1乙部

107 九

九泉 きうせん

九十一劫 くじゅういち

ちごふ

九条殿 くどうどの

九条右丞相 くどうの

のうじゆうしやう

九条右大臣殿 くで

うのうだいじんど

の

九条殿 くどうどの

九人 くにん

108 乞

乞食 につじき

109 也

空也聖人 くうやし

やうにん

113 乳

乳 ち

121 亂

亂(亂) ち

亂 ち

亂 ち

129 二

二 引用句

大二条殿 おほにで

うどの

十二人 じふににん

二部 じらう

第二 だいに

二十五 じふご

二十五有 じふご

二十 じふ

二世 にせ

二代 にだい

二段 にだん

二条大宮 にじうお

ほみや

二条つみ

つつみ

二万 にまん

二万郷 にまんがう

二万人 にまんにん

百二十年 ひやくに

じふねん

冷泉院二宮 れいぞう

いるんのののみや

132 子

子時 ときに

いふ

135 五

引用句

一五百生 いちごひ

やくしやう

五月 ごくわち

五十御賀 ごじひの

おむか

五台山 ごだいさん

五道 ごだう

五百 ごひやく

五六寸 ごろくすん

五位 ごご

二十五 じふご

二十五有 じふご

う

136 井

山井大納言道頼 や

まのゐのだいなご

んみちより

146 亞

亞鳥(鳥鴉ノ宛字)

をを

2ノ部

162 交

交野 かのの

167 京

一京 ひときやう

二人部

168 人

一人 ひと 引用句

悪人 あくにん

一人 ひとのひと

空也聖人 くうやし

やうにん

九人 くにん

蔵人 くらひと

官人 ぐわんにん

罪人 ざいにん

相人 さうにん

三とん さとびと

三人 さむにん

守護人 しゆごにん

十二人 じふににん

十人 じふにん

聖人 しようにん

千七百人 せんしち

ひやくにん

時人 ときのひと

二人 ににん

二万人 にまんにん

人魚油 にんぎよ

あぶら

人間 にんげん

人身 にんじん

人氏 にんみん

人葉王子 にんや

わうじ

八人 はちにん

一人 ひとひと

一人 ひとり

病人 びやうにん

夫人 ぶにん

摩耶夫人 まやぶに

門人 もんじん

六人 ろくにん

古今 こまむ

今生 こまじやう

179 仏

他腹 たふく

183 他

192 代

一代教主 いちだい

けうしゆ

代々 だいたい

二代 だいに

末代 まつだい

193 令

引用句

194 引

引用句

200 仲

仲胤 ちういん

206 任

助任侍従 すけたふ

のじじゆう

23 伊

伊賀守為業 いがの

三十一

217 伏 紀伊國 きいのくに  
かみためなり

224 会 ↓ [467 會]  
降伏 がつぶく  
伝 ↓ [468 傳]

230 伴 ↓ 引用句  
235 似 引用句  
236 像 引用句  
阿伽陀薬 あかたや

243 但 引用句  
240 位 くらぬ  
五位 ごぬ  
三位中將師房 さむ  
ぬのちうじやうし  
ばう  
四位 しぬ

249 住 住木宝珠 ちうすい  
ほうしゆ  
住侶 ちうりよ  
法住寺 ほふちうじ  
248 余 自余 じよ  
御仙 おむほとけ  
俱留孫仙 くるそん  
ぶつ

255 佛 (仙) ほとけ  
俱留孫仙 くるそん  
ぶつ

空王仏 くわうぶつ  
成仏 じやうぶつ  
諸仏 じよぶつ  
仙師 ぶつし  
仙身 ぶつしん  
仙道 ぶつだう  
仙法 ぶつぽふ  
仙法僧 ぶつぽふそ  
う

256 作 つくる 引用句  
252 來 (來) 尺 (親ノ宛字) 迦如来  
しやかによらい  
如來 によらい  
如来 ねんらい  
未來 みらい  
菩薩 ぼさつ  
東迎 とうりがう  
東迎引摺 らいがう  
いんせふ

287 例 れい  
288 侍 はべり  
助任侍従 すけたふ  
のじじゆう  
289 供 供養 くやう  
うす  
園城寺内供智輿 を  
んじやうじのな  
ぐちこう

282 來 (來) 尺 (親ノ宛字) 迦如来  
しやかによらい  
如來 によらい  
如来 ねんらい  
未來 みらい  
菩薩 ぼさつ  
東迎 とうりがう  
東迎引摺 らいがう  
いんせふ

287 例 れい  
288 侍 はべり  
助任侍従 すけたふ  
のじじゆう  
289 供 供養 くやう  
うす  
園城寺内供智輿 を  
んじやうじのな  
ぐちこう

289 供 供養 くやう  
うす  
園城寺内供智輿 を  
んじやうじのな  
ぐちこう

301 依 帰依 くるえ  
えす  
304 舍 ↓ [988 舍]  
316 侶 住侶 ちうりよ

307 俊 紙雄俊 しやくぶ  
俊徳法師 しゆんえ  
ほふし  
橘能俊 たちばなの  
よしとし  
引用句  
還俗 へんぞく  
賢於重保 かものし  
げやす  
内記入道保胤 ない  
きのにふだうやす  
たね  
民部御保則 みんぶ  
きやうやすのり  
桃園中納言保光 も  
ちぞのちうなご  
んやすみつ  
345 信 顕信馬入道 あまの  
ぶのうまのにふだ  
う

307 俊 紙雄俊 しやくぶ  
俊徳法師 しゆんえ  
ほふし  
橘能俊 たちばなの  
よしとし  
引用句  
還俗 へんぞく  
賢於重保 かものし  
げやす  
内記入道保胤 ない  
きのにふだうやす  
たね  
民部御保則 みんぶ  
きやうやすのり  
桃園中納言保光 も  
ちぞのちうなご  
んやすみつ  
345 信 顕信馬入道 あまの  
ぶのうまのにふだ  
う

307 俊 紙雄俊 しやくぶ  
俊徳法師 しゆんえ  
ほふし  
橘能俊 たちばなの  
よしとし  
引用句  
還俗 へんぞく  
賢於重保 かものし  
げやす  
内記入道保胤 ない  
きのにふだうやす  
たね  
民部御保則 みんぶ  
きやうやすのり  
桃園中納言保光 も  
ちぞのちうなご  
んやすみつ  
345 信 顕信馬入道 あまの  
ぶのうまのにふだ  
う

307 俊 紙雄俊 しやくぶ  
俊徳法師 しゆんえ  
ほふし  
橘能俊 たちばなの  
よしとし  
引用句  
還俗 へんぞく  
賢於重保 かものし  
げやす  
内記入道保胤 ない  
きのにふだうやす  
たね  
民部御保則 みんぶ  
きやうやすのり  
桃園中納言保光 も  
ちぞのちうなご  
んやすみつ  
345 信 顕信馬入道 あまの  
ぶのうまのにふだ  
う

307 俊 紙雄俊 しやくぶ  
俊徳法師 しゆんえ  
ほふし  
橘能俊 たちばなの  
よしとし  
引用句  
還俗 へんぞく  
賢於重保 かものし  
げやす  
内記入道保胤 ない  
きのにふだうやす  
たね  
民部御保則 みんぶ  
きやうやすのり  
桃園中納言保光 も  
ちぞのちうなご  
んやすみつ  
345 信 顕信馬入道 あまの  
ぶのうまのにふだ  
う

信心 しんじん  
信力 しんりき  
大納言中宮大夫能信  
だいなごんちうぐ  
うのたいふよしの  
ぶ  
成信中將 なりのぶ  
のちうじやう

330 俱 俱留孫仙 くるそん  
ぶつ  
339 修 逆修 ぎやくしゆ  
修行 しゆぎやう  
しゆぎやうす  
魔醜修言宛字羅  
まけいしゆら  
安倍氏 あべうぢ  
さぶらふ  
446 備 吉備大臣 きびのた  
いじん  
備中国 ひちうのく  
に  
448 像 仏教大師 ぶつけう  
だいにし  
449 像 形像 ぎやうざう  
絵像 えざう  
503 僧 (僧) そう  
そう

330 俱 俱留孫仙 くるそん  
ぶつ  
339 修 逆修 ぎやくしゆ  
修行 しゆぎやう  
しゆぎやうす  
魔醜修言宛字羅  
まけいしゆら  
安倍氏 あべうぢ  
さぶらふ  
446 備 吉備大臣 きびのた  
いじん  
備中国 ひちうのく  
に  
448 像 仏教大師 ぶつけう  
だいにし  
449 像 形像 ぎやうざう  
絵像 えざう  
503 僧 (僧) そう  
そう

330 俱 俱留孫仙 くるそん  
ぶつ  
339 修 逆修 ぎやくしゆ  
修行 しゆぎやう  
しゆぎやうす  
魔醜修言宛字羅  
まけいしゆら  
安倍氏 あべうぢ  
さぶらふ  
446 備 吉備大臣 きびのた  
いじん  
備中国 ひちうのく  
に  
448 像 仏教大師 ぶつけう  
だいにし  
449 像 形像 ぎやうざう  
絵像 えざう  
503 僧 (僧) そう  
そう

330 俱 俱留孫仙 くるそん  
ぶつ  
339 修 逆修 ぎやくしゆ  
修行 しゆぎやう  
しゆぎやうす  
魔醜修言宛字羅  
まけいしゆら  
安倍氏 あべうぢ  
さぶらふ  
446 備 吉備大臣 きびのた  
いじん  
備中国 ひちうのく  
に  
448 像 仏教大師 ぶつけう  
だいにし  
449 像 形像 ぎやうざう  
絵像 えざう  
503 僧 (僧) そう  
そう

330 俱 俱留孫仙 くるそん  
ぶつ  
339 修 逆修 ぎやくしゆ  
修行 しゆぎやう  
しゆぎやうす  
魔醜修言宛字羅  
まけいしゆら  
安倍氏 あべうぢ  
さぶらふ  
446 備 吉備大臣 きびのた  
いじん  
備中国 ひちうのく  
に  
448 像 仏教大師 ぶつけう  
だいにし  
449 像 形像 ぎやうざう  
絵像 えざう  
503 僧 (僧) そう  
そう

外僧 ぐゑそう  
諸僧 じよそう  
千僧 せんそう  
僧祇 そうぎ  
僧弼 そうひつ  
仏法僧 ぶつぽふそ  
う  
老僧 らうそう  
威儀 むぎ

516 儀 威儀 むぎ  
518 億 億千歳 おくせんざ  
い  
2 儿 部

516 儀 威儀 むぎ  
518 億 億千歳 おくせんざ  
い  
2 儿 部

516 儀 威儀 むぎ  
518 億 億千歳 おくせんざ  
い  
2 儿 部

516 儀 威儀 むぎ  
518 億 億千歳 おくせんざ  
い  
2 儿 部

516 儀 威儀 むぎ  
518 億 億千歳 おくせんざ  
い  
2 儿 部

590 兎山郡

2 入部

582 入

頸信馬入道 あまのぶのうまのにふだう

内記入道保胤 ないきのにふだうやす

参(三ノ宛字) 川(河ノ宛字) 入道寂然 みかはのにふだうじやくね

八万四千 はちまん

八王字(子ノ宛字) はちわうじ

八旬 はちじふ

八人 はちにん

585 内(内)

一百由旬内 いちひやくゆじゆんない

河内国 かふちのくに

内記入道保胤 ない

きのにふだうやす

内侍 ないし

内大臣 ないだいじ

内入正左大将教道殿 ないだいじんのだいせいしやうのりみ

ちどの

内院 ないゐん

蘭城寺内供智樂 をんじやうじのいないちごう

619 兼

道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

591 金 またく

一両首 いちりやうしゆ

2 八部

八十 はちじふ

八旬 はちじふ

八人 はちにん

八万四千 はちまん

八王字(子ノ宛字) はちわうじ

八旬 はちじふ

八人 はちにん

八万四千 はちまん

八王字(子ノ宛字) はちわうじ

公章 きむあきら

公遣 きむだち

公卿 くぎやう

女公遣 めむなまむだち

河崎六角堂 かはさきのろくかくだう

五六寸 ごろくすん

十六分 じふろくぶん

第六天 だいろくてん

六月 ろくぐわち

六軍比丘 ろくぐんびく

六種 ろくしゆ

六七月 ろくしちご

619 兼

道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

道兼 道兼 みちかね

602 兵 つはもの

待賢門院兵衛 たいけんもんゐんのゐんの

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

御共(伴ノ宛字) おむとも

704 池 引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

引用句

707 利 舍利 しやり

舍利帯 しやりほつ

舍利帯 著 しやり

ほつそんじや

初利天 たうりてん

名利 みやうり

利生 りしやう

利益 りやく

阿防羅利 あぼうら

浄刹 じやうせつ

羅刹せ らせつによ

氏部御保則 みるぶ

きやうやすのり

前 前まへ

前 前ぜんく

前後 ぜんご

西御前 にしのぎぜ

越後国 ゑちごのくに

劍(劍) けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

劍 けん

2カ部

856カ ちから  
857功 信力 しんりき

859劣 功徳 くどく  
出家功徳經 しゆつ  
けくどくまやう  
神功皇后 じんこう  
くわうごう

860助 下劣 げれつ  
質茂成助 かものな  
りすけ  
助任侍徒 すけたふ  
のじじゆう

865劫 九十一劫 くじふいち  
ちごふ  
劫蓮樹 くばじゆ  
無量劫 むりやうご

879勸 九十一劫 くじふいち  
ちごふ  
彌勒 みろく

893勝 振動 しんどうす  
大聖不動明王 だい  
しやうふどうみや  
うわう  
不動尊 ふどうそん  
尊勝陀羅尼 そんし

2ノ部

894勿 引用句  
895 摩訶(音/宛字)セ  
むかく

2匕部

896化 化身 くゑしん  
化(快/宛字)楽 く  
えらく

897北 北方 きたのかた  
北嶺 ほくれい

2十部

898 九十一劫 くじふいち  
ちごふ  
五十御賃 ごじふの  
おむら

899 七十一 七十七  
七十八 七十九  
八十 八十一  
八十二 八十三  
八十四 八十五  
八十六 八十七  
八十八 八十九  
九十

900 十善 じふぜん  
十人 じふにん  
十人 じふにん

ようたらに

十人 じふねん  
十方 じふぱう  
十方世界 じふぱう  
せかい  
十輪經 じふりんぎ  
やう

十六分 じふろくぶ  
ん  
二十五 じふご  
二十五有 じふご  
う

二十艘 にじふさう  
八十 ちちじふ  
百二十年 ひやくに  
じふねん

一千 イツせん  
億千歳 おくせんざ  
い  
千七百人 せんしち  
ひやくにん  
千手 せんしゆ  
千手陀羅尼 せん  
じゆだらに

千手陀羅尼 せん  
じゆだらに  
千手陀羅尼 せん  
じゆだらに  
千僧 せんそう  
千耳 せんねん  
千耳万耳 せんねん  
まんねん  
千里赤 せんりのは  
ま  
八万四千 はちまん

百千 びやくせん  
廿五 じふご  
南海 なむかい  
南殿 なむでん  
南都 なむと  
2ト部  
ト筵 ぼくせいす  
2P部  
宝篋印陀羅尼 ほう  
けういんだらに  
1040 卷  
巻第四 くわんだい  
し  
大卷 ちやくまき  
1044 脚 引用句  
清行脚 きよゆきの  
まやう  
公卿 くまやう  
善宰相清行脚 ぜん  
さいしやうきよゆ  
きのまやう  
兵部御致平 ひやう  
ぶみやうむねひら  
民部卿長家 びんぶ  
みんぶ

1074 原  
大原 ちはら  
殿原 とのぼら  
藤原家経 ふちはら  
のいへつね  
藤原為頼 ふちはら  
のためより  
藤原親盛 ふちはら  
のちかもり  
冷泉川原 れいぜい  
かはら  
2L部  
過去 くわこ  
乃往過去 ないわう  
くわこ  
1104 参(参)  
参(三/宛字)川(河/宛字)  
入道寂然 みかほの  
にくだうじやくね  
ん  
2又部  
1108 又 また  
又々 またまた  
1111 及 引用句  
1112 友  
善友 ぜんう

1074 原  
大原 ちはら  
殿原 とのぼら  
藤原家経 ふちはら  
のいへつね  
藤原為頼 ふちはら  
のためより  
藤原親盛 ふちはら  
のちかもり  
冷泉川原 れいぜい  
かはら  
2L部  
過去 くわこ  
乃往過去 ないわう  
くわこ  
1104 参(参)  
参(三/宛字)川(河/宛字)  
入道寂然 みかほの  
にくだうじやくね  
ん  
2又部  
1108 又 また  
又々 またまた  
1111 及 引用句  
1112 友  
善友 ぜんう

1127 取

梶取 かんどり

1128 受

受持 じゆぢす

1130 叙

叙 じゆぢす

1135 野

野 ばやそう

1141 口

口部 3

1142 古

古 こんまむ

1144 叫

叫喚 けうくわんす

1155 台

五台山 ごだいさん

金蓮台 こむれんだ

天台山 てんだいさ

人 ん

1158 右

右大臣殿 ちは

の たいのうだいじん

右大将時 うだい

の しやうなりとき

右馬頭信 うまの

かみあきのが

九条右丞相 くでう

のうじようしやう

九条右大臣殿 くで

うのうだいじん

うのうだいじん

1176 右

皇太后宮 くわうごう

の ぐう

1179 向

神功皇后 じんごう

の くわうごう

一向 いつかうに

1162 号

名号 びやうごう

院号 びんごう

1163 司

国司 こくし

1168 各

おのかの

1172 吉

吉志舞 ましまひ

吉備大臣 まびの

の だいじん

1174 同

おなじ

1175 名

法名 ぽふみやう

名号 びやうごう

名刺 びやうり

名師 べいし

名所 べいしよ

1176 后

皇太后宮 くわうごう

の ぐう

神功皇后 じんごう

の くわうごう

1185 君

君達 きむだち

小大君 こだいきみ

三君 さんきみ

四君 しのみみ

1186 吾

わが びんごう

1187 周

周武王 しうのぶわ

1188 固

固製般特 しうりは

1189 大

大悲神呪 だいいじ

1190 命

いのち

1191 運

うんめい

1192 命

みやうじゆ

1193 相

相応和尚 さうおう

1194 大

大和物語 やまと

1195 和

和歌 わか

1196 咸

咸陽宮 かんやうき

1197 一

一品宮 いちぽんの

1198 三

三条院 さんじゆいん

1305 引

引用句 びんごう

1306 哥

哥苑抄 かえんせう

1342 唐

大唐 たいたう

1349 唯

唐土 たうど

1351 善

善 ぜん

1352 一

一善 いちぜん

1353 十

十善 じふぜん

1354 善

善友 ぜんゆう

1355 善

善見薬王 ぜんけん

1356 善

善根 ぜんこん

1357 善

善相清行脚 ぜん

1358 善

善財童子 ぜんざい

1359 善

善屋比丘 ぜんしや

1360 善

善明天子 ぜんみや

1361 善

善無畏三蔵 ぜんむ

1362 追

追善 ついぜん

1412 引

引用句 びんごう

1413 譬

譬喻経 ひゆまやう

1414 大

大嘗会 たいじやう

1415 華

華嚴経 けつごむま

1416 莊

莊嚴 じやうごむ

1417 卷

卷第 四 ぐわんだい

1418 四

四海 しがい

1419 四

四色蓮花 ししきれ

1420 四

四天王寺 してんわ

1421 四

四君 しのまみ

1422 四

四馬 しば

1423 四

四位 しば

1424 八

八万四千 ばちまん

1425 因

因縁 いんえん

1426 一

一国 いくくに

1427 一

一ツみの国 ひとつみのくに

1428 河

河内国 かわちのくに

紀伊国 きいのくに

国司 こくし

国土 こくど

国母 こくも

国王 こくわう

在国 ざいこく

震旦国 しんたんこ

振(震/宛字)且国 しんたんこく

新羅国 しんらこく

大舍国 たいきむこ

毗沙離國 びしやり

備中国 びちうのく

摩訶陀國 まかたが

越前國 えちぜんの

遠国 えんこく

園(円) 6144 10466 園

円融院 えんいうゐ

土部

国土 こくど

淨土 じやうど

唐土 たうど

1654 土

1645/644

土御門右大臣 つちみかどのうだいじ

土産 どさん

在夜 ざいけ

在国 ざいこく

在生 ざいしやう

大地 だいち

大地獄 だいちごく

地獄 ぢごく

地藏 ぢざう

地藏講 ぢざうかう

地藏等 ぢざうとう

地藏菩薩 ぢざうぼさつ

西坂本 にしさかも

重跡 すいしやく

1710 重

1740 城

1758 基

1765 堂

1782 坂

1666 地

1679 在

1796 報

1812 塚

1816 塚

1826 塚

1836 塚

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

中堂 ちうたう

御堂 みたう

御堂関白 みたうの

くわんぱく

1796 報

1812 塚

1816 塚

1826 塚

1836 塚

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

一日一夜 いちにちいちや

百鬼夜行 ひやくく

ぬやぎやう

夜行 やぎやう

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大

小大君 こだいぎみ

者返(連/宛字) ざは

だいじん

吉備大臣 きびのた

いじん

西三条大将 さいさ

むでうのだいしや

左大臣 さだいじん

大海 だいかい

大金国 だいきむこ

大紅蓮 だいくれん

大願 だいくわん

大聖 だいくわん

大聖親世音菩薩 だ

いしやうくわんせ

おむぼさつ

大聖世尊 だいくわん

うせそん

大聖不動明王 だいく

しやうふだうみや

うわう

大聖明王 だいくわん

うみやうわう

大聖文珠(殊/宛字)

だいしやうもんじ

大嘗会 だいくわん

えん

大食無智 だいくわん

くむち

1844 大

1844 大

1844 大

1844 大



大臣 だいじん  
 大臣等 だいじんら  
 大少(小宛字) だい  
 せう  
 大焦熱 だいせうね  
 大唐 たいたう  
 大地 たいち  
 大地獄 たいちごく  
 大納言 だいなごん  
 大納言中宮大夫能信 だいなごんちうぐ  
 うのたいふよしの  
 大納言東宮大夫賴宗 だいなごんとうぐ  
 うのたいふよむ  
 大般若經 だいはん  
 にやきやう  
 大悲 だいい  
 大悲苦 だいいく  
 大悲心 だいいしむ  
 大悲神咒 だいいひ  
 んじゆ  
 大林精舎 だいらい  
 しゃうじや  
 大玉 だいう  
 大恩教主 だいてん  
 けうしゆ  
 高明大将 たかあま  
 らのたいしやう  
 智証大師 ちしやう

長 だいし  
 大 ちやうだい  
 土御門右大臣 つち  
 みかどのうだいし  
 仏教大師 ぶんけう  
 だいし  
 東大寺禪林 とうだ  
 いじせむりむ  
 内大臣 ないだいじ  
 内大臣左大将教道殿 ないだいじんのだ  
 ちどの  
 二条大宮 にでうお  
 ほみや  
 弥伽大士 みかだい  
 大和物語 やまと  
 のがたり  
 山井大納言道頼 や  
 まのみのだいなご  
 んみちより  
 一天下 いちてんか  
 炎天 えむてん  
 皇極天皇 くわうき  
 くとてんわう  
 四天王寺 してんわ  
 うじ  
 淨目天子 じやうも  
 くてんし

善明天子 ぜんみや  
 うてんし  
 第六天 だいろくて  
 ん  
 初利天 ちうりてん  
 天下 てんか  
 天台山 てんたいざ  
 ん  
 天上 てんじやう  
 天竺 てんちく  
 天智天皇 てんちて  
 んわう  
 天聰 てんちやう  
 天童 ちゆう  
 天童鉢 てんどうは  
 天老 てんらう  
 蒼天帝 ほうてん  
 たいしやく  
 会昌天子 えしやう  
 てんし  
 悉陀太子 しつた  
 いし  
 宋太子 そうのたい  
 し  
 太子 たいし  
 太即 たうじ  
 大納言中宮大夫能信 だいなごんちうぐ  
 うのたいふよしの  
 大納言東宮大夫賴宗 だいなごんちうぐ  
 うのたいふよしの

たいなごんとうぐ  
 うのたいふよむ  
 田夫 てんふ  
 夫人 ぶにん  
 摩耶夫人 まやぶに  
 ん  
 羅菓 ころも  
 おむらくわ  
 3 女部  
 2022 女 むすめ せむね  
 皇女 くわうによ  
 女御 によご  
 女房 にやぼう  
 羅刹女 らせつによ  
 蓮花女 れんぐえによ  
 女公達 めむなまむ  
 だち  
 女子 をむなご  
 2024 奴 奴婢 むひ  
 2021 如 引用句 金如意珠 こゑによ  
 いしゆ  
 尺(秋宛字)迎如来 しゃかによらい  
 道如 だうによ  
 如来 によらい  
 薬師如来 やくしに

2033 女 引用句 無慮妄 むこまう  
 2025 姓 懐妊 くわいにむ  
 2045 妙 たいはり  
 2061 妻 妻室 さいしつ  
 2069 始 秦姬皇 しんのしく  
 わう  
 2105 威 有威王 さいのるわ  
 威儀 むぎ  
 2142 婆 婆羅樹 ころも  
 劫婆樹 くぱじゆ  
 娑婆 しゃは  
 提婆達多 たいはた  
 った  
 2071 婢 奴婢 むひ  
 3 子部  
 2262 子 引用句 御子 おむこ  
 御弟子 おむでし  
 みひし  
 2247 惟高御子 これたか  
 のみこ  
 獅子 しし

師(獅ノ宛字)子座

ししのざ

浄目天子 じやうも

くてんし

善財童子 ぜんざい

どうじ

善明天子 ぜんみや

うてんし

宋太子 そうのたい

し

太子 たいし

弟子 ぢし

童子 どうじ

人葉王子にんやくわ

うじ

法財王子 ほふざい

わうじ

葉童子 やくどうじ

王子 わうじ

会昌天子 ゑしやう

てんし

男子 ものこ

女子 もむな

一文字 いちもんじ

八王字(子ノ宛字)は

ちわうじ

文字 もんじ

ぞんず

現存集 げんもんし

存住 ぞんじやう

給孤獨藪 ぎふこど

くそん

俱留孫仏 くるそん

ぶつ

3 内部

守治殿 うちどの

伊賀守為業 いがの

かみためなり

志岐守頼業 いまの

かみよりなり

守備人 しゆごにん

再後守為志朝臣 たい

んごのかみためた

だあそむ

長門守為経 ながつ

のかみためつね

2309 守

安倍氏 あべうぢ

守部(倍ノ宛字)氏 あ

べのうぢ

安元々年 あんぐゑん

んぐわんねん

安置 あんちす

長安宮 ちやうあん

くう

徽宗王 ますわう

232 守

顯宗 けんしゆう

宋太子 そうのたい

大納言東宮大夫頼宗

たいなごんどうぐ

うのたいふよりむ

233 守

密宗 みつしゆう

官人 くわんにん

百官 ひやくくわん

冥官 みやうくわん

さだめて ちやう

引用句

天定住住 くゑつぢ

やうわうじやう

定業 ぢやうごふ

234 守

一品宮 いちほむの

みや

焰閣ノ宛字(應王宮)

えんまわうくう

瑛閣ノ宛字(應王宮)

えんまわうくう

咸陽宮 かんやうぐ

宮殿 くうでん

皇向宮 くわうごう

2342 守

三條院一品宮 さんじょういんいちほむ

のみや

大納言中宮大夫能信

たいなごんちゆうぐ

うのたいふよしの

2344 守

善宰相清行卿 ぜん

さいしやうきやう

子のきやう

引用句

御家 おいへ

在家 ざいけ

皇家少将 しげいへ

のせうしやう

2349 家

秘藏蔵経 ひみつざ

うまやう

密宗 みつしゆう

とむ

236 密

不審 ふしん

237 密

寛平法皇 くわんへ

いのほふわう

237 密

寂念 じやくねん

寂然 じやくねん

寂超 じやくてう

参三(宛字)川(宛字)

入道寂然 みかほの

にふだうじやくねん

2351 密

2352 密

出家 しゆうつけし

ゆつけす

出家功德経 しゆうつ

けくどくぎやう

出家通世 しゆうつ

とんせいす

臣家 しんか

日記家 にぎのいへ

藤原家経 ふちはら

のいへつね

2357 密

2358 密

2359 密

2360 密

2361 密

2362 密

2363 密

2364 密

2365 密

2366 密

2367 密

2368 密

2369 密

2370 密

2371 密

2372 密

2373 密

2374 密

2375 密

2376 密

2377 密

2378 密

2379 密

2461 寶(宛) 五から

三宝 さむほう

七宝 しちほう

住水宝珠 ちうすい

ほうしゆ

宝篋印陀羅尼 ほう

けういんたらに

宝積經 ほうしやく

きやう

宝物集 ほうぶつし

ふ

3 寸部

2413 寸

五六寸 ごろくすん

2415 寺

文心寺 えんしんてら

延暦寺 えんりやく

行願寺 かつぼう

王やうぐわんじ

玉泉寺 ぎよくせん

清水寺 きよみづで

祇園(園/宛字)寺

ぎおんじ

雙林寺 ふうりんじ

四天王寺 してんわ

うじ

諸寺 しよじ

東大寺 とうだい

いじせむりむ

法成寺 ほうじやう

法住寺 ほうぢやうじ

山寺 やまてら

山寺法師 やまてら

ほふし

蘭城寺内供習練 を

んじやうじのばい

ちちこ

右大將 とうだい

しやうなりとき

閑院 けんいん

んぬんのすだいし

やうあさみつ

小一条 せういちぢやう

こいちぢやうのうだい

西三条 さいさん

むぢやうのだいしや

三位 さんい

のちうじやうし

重家 じゆうけ

のせうしやう

将軍 じやうぐん

らのだいしやう

高光 かうかう

のせうしやう

2448 射 射

2449 射 射

2450 射 射

2451 射 射

2452 射 射

2453 射 射

2454 射 射

2455 射 射

2456 射 射

2457 射 射

2458 射 射

2459 射 射

2460 射 射

2461 射 射

2462 射 射

2463 射 射

2464 射 射

2465 射 射

2466 射 射

2467 射 射

2468 射 射

2469 射 射

2470 射 射

2471 射 射

2472 射 射

2473 射 射

2474 射 射

2475 射 射

照中將 てるのちう

じやう

時叙少將 ときのぶ

のせうしやう

内大臣 ないだいじん

のせいじん

だいいしやうのりみ

ちどの

成信中將 なるのぶ

のちうじやう

業平中將 なりひら

のちうじやう

業房中將 なりふさ

のちうじやう

光少將 ひかるのせ

うしやう

引用句

うはり尊者 うぱり

そんじや

かせう尊者 かせう

そんじや

釈尊 しやくそん

尺(釈/宛字)尊 しゃ

くそん

舍利弗尊者 しやり

ほつそんじや

尊勝陀羅尼 そんし

ようだらに

尊容 そんよう

うせそん

不働尊 ふどうそん

本尊 ほんぞん

無上尊 むじやうそ

ん

2436 導 導

引用句

3 小部

2440 少 少

小一条 せういちぢやう

こいちぢやうの時

いしやうなりとき

小大君 こだいきみ

小野 せの

引用句

幼少 せうせう

少(小/宛字)一条院

こいちぢやうのあん

重家少將 しげいへ

のせうしやう

少沙弥 せうしやみ

せうせう

少年 せうねん

大少(小/宛字) だい

せう

高光少將 たかみつ

のせうしやう

時叙少將 ときのぶ

のせうしやう

光少將 ひかるのせ

うしやう

2446 尚 尚

相応和尚 さうおう

くわしやう

3 尤部

2473 尼 尼

けうとむ比丘尼 け

ういむびくに

随求陀羅尼 ずいぐ

だちに

千手陀羅尼 せんじ

ゆだちに

千手陀羅尼 せん

じゆだちにきやう

尊勝陀羅尼 そんし

2444, 2455 就 就

引用句

3 尸部

三尺 さむしやく

尺(釈/宛字)迦 しゃ

か

尺(釈/宛字)迦如末

しやくかによらひ

尺(釈/宛字)尊 しゃ

くそん

2473 尼 尼

けうとむ比丘尼 け

ういむびくに

随求陀羅尼 ずいぐ

だちに

千手陀羅尼 せんじ

ゆだちに

千手陀羅尼 せん

じゆだちにきやう

尊勝陀羅尼 そんし

ようだらに

宝篋印陀羅尼 ほう

けういんたらに

2478 塵 塵

衆塵 じゆうぢん

がくや

3 山部

2528 山 山

花山法皇 けうざん

のほふわう

五台山 ごたいざん

いじせむりむ

三〇九

金山 こむせん

山王 さんわう

須弥山 しゆみせん

諸山 しょざん

天台山 てんたいざん

東山 ひがしやま

離山 りざんす

靈山 りやうせん

山寺 やまでら

山寺法師 やまでら

山井大納言道頼 やまのゐのぢいぢい

人みちより

志岐守頼業 いまの

かみよりぢり

徳宗 たいそう

多武峯 たむのね

河崎六角堂 かはさ

きのろくかくたう

ほうす

北嶺 ほくれい

3 川部

後白川(河ノ宛定)院

いしらかはのゐん

2962

2744

2640

2612

2589

2558

2540

参(三ノ宛定)川(河ノ宛定)

入道寂然 みかはの

にふだうじやくおん

冷泉川原 れいせい

かはら

紀州 まのくに

本州 くわうしう

3 工部

左 ひだり

関院左大将朝光 か

んぬんのさだいし

やうあさみつ

関白左大臣 くわん

はくさだいじん

左衛門 さけふ

左大臣 さだいじん

内大臣左大将教道殿

だいだいじんのさ

だいしやうのりみ

ちどの

差別 しやべち

3 巾部

黄帝 くわうてい

魏武帝 ぐゐのびて

2800

2806

2980

2774

2764

2764

菅天帝親 ほむてん

たいしやく

弘法大師 こうぼう

だいし

三世中得師房 さむ

ぬのちうじやうし

師(獅ノ宛定)子座

しのぞ

俊恵法師 しゆんゑ

ほふし

智証大師 ちしやう

だいし

伝教大師 だんけう

だいし

仏師 ぶつし

法師 ほふし

名師 ぬし

師範 もろすけ

永観律師 やうくわ

んりつし

薬師 やくし

薬師如来 やくしに

よらい

山寺法師 やまでら

ほふし

3 千部

無常 むじやう

2891

2841

2891

具平親王 ぐへいし

んわう

兼平中得 かりひら

のちうじやう

兵部卿致平 ひやう

ぶまやうむねひら

2990

安元々年 あんぐゑ

んぐわんねん

一写 いちねん

ととせ

十耳 じふねん

少年 せうねん

4年 せんねん

今年 こんねん

まんねん

長徳元年 ちやうと

くぐわんねん

毎来 ねんらい

百二十耳 ひやくに

じふねん

毎年 まいねん

3 云部

幼少 ちうせう

2997

2944

2938

2924

2918

2914

七度 しちど

座主 ざす

師(獅ノ宛定)子座

ししのぞ

2946

荒廢 くわいはい

2993

広州 くわうしう

広田明神 ひろたの

みやうじん

3 又部

延喜 えんぎ

延昌 えんしやう

延曆寺 えんりやう

2908

建春門院 けんしゆ

んもんのゐん

建立 こんりふ

3 廿部

衰弊 すいへい

3027

3044

3 弓部

来迎引扱 らいかう

いんせふ

3044

2997

2924

2918

2914

3046 弟

舍利尊 しゃりぼつ  
舍利尊尊者 しゃり  
ぼつそんじや

3047 弘

弘法大師 こうぼう  
だいし

3052 弟

御弟子 おむでし  
みでし みでしど

3071 僧

僧 ぼうし  
ぼうし

3094 彌

彌 ぼうし  
ぼうし

須弥 しやみ  
しゆみ

須弥山 しゆみせん  
せうしやみ

彌伽大士 みかだい  
し

彌陀 みだ  
みらく

3101 形

形像 ぎやうざう  
ぎやうざう

3116 影

影賢王 やうけんわ  
う

3124 後

後 かの  
か

3138 往

決定往生 くだつてんじやう  
やうわうじやう

乃往過去 ないわう  
くわこ

往生極樂 わうじやう  
うごくらく

3152 待

待賢門院 たいけん  
もんのみん

3157 律

永観律師 えうくわん  
りつし

3158 後

用句 ちゆうきゆう  
のち 引

後一条院 ごいちでう  
うのみん

後三条院 ごさんでう  
うのみん

後拾遺 ごしゆい  
ごしやう

後朱雀院 ごしゆくわ  
ごしやう

後朱雀院 ごしゆくわ  
ごしやう

後白河院 ごしやくわ  
ごしやう

後冷泉院 ごれいせん  
ごせもん

後冷泉院 ごれいせん  
ごせもん

前後 ぜんご

前後守為忠朝臣 ぜんご  
しゆゑちゆうてん

光後 けうご  
らうご

引用句 ちゆうきゆう  
ひとくわ

3159 後

助任侍従 すけにん  
のじじゆう

3153 御

御あし おむあし  
御あそび おむあそび

御いのり おむいの  
り

御家 おむいへ  
御いみ おむいみ

御おと おむおと  
御あつ おむあつ

御心ち おむこころ  
御道心 おむだうし

御弟子 おむでし  
みでし

御時 おむとき  
御とし おむとし

御とも おむとも  
御共(伴/宛字)

御共(伴/宛字)

御共(伴/宛字)

御共(伴/宛字)

おむとも

御母 おむはは  
御仏 おむほとけ  
御眼 おむまなこ

御まへ おむまへ  
御をち おむをち

五十御質 ごじふの  
おむあつ

御りやう ごりやう  
惟高御子 これたか

土御門右大臣 つち  
みかどのうだいにん

西御前 にしのごせ  
にん

女御 によご  
鳳簾御輿 ほうれん  
のみこし

御輿 みこし  
御隨身 みおひじん

御堂 みだう  
御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

御堂開白 みだうの  
くわんぱく

3177 徽

徽宗王 きすわう

3179 心

御心ち おむこころ  
御道心 おむだうし

3179 心

心あり こころあり  
心う こころう

心うし こころうし  
心さし こころざし

心よはし こころよ  
わし

出生菩提心經 しゆ  
つしやうぼだいし

信心 しんじん  
大悲心 だいひしむ

道心 だうしむ  
菩提心 ぼだいしむ

発心 ぼつしむ  
無心 むしむ

切利天 たいりてん

忍辱 にんにく

吉志舞 きしまひ

吉志舞 きしまひ

吉志舞 きしまひ

吉志舞 きしまひ

丹後守為忠朝臣 だ  
んごのかみためた  
だあそむ

三二一

3208 快 ↓ 938 化  
324 念 ねむす 引用句  
一念 いちねむ

3233 怖 怖魔 ふま  
思わつらふ おもひ  
わづらふ おもひ

3245 宿 怨敵 せんてき  
恒河 じやうがわ  
恒河沙 じやうがわ

3267 恒 (恒) 大恩教主 だいおんきゆう  
けうしゆ  
恩徳 さんとく

3312 悉 引用句 悉陀太子 しつたたい  
いし

329 患 苦患 くぐゑん  
病患 びやうぐゑん

3375 悲 引用句 慈悲 ひひ  
大悲 だいひ  
大悲心 だいひしん  
大悲神咒 だいひしんじ

悲願 ひぐわん  
3348 情 (愛情) 非情 ひじやう

3365 惟 惟高御子 くれたか  
のみこ

3367 惡 (惡) 智恵 ちゑ  
悪縁 あくえん  
悪業 あくごふ  
悪趣 あくしゆ  
悪世 あくせ  
悪道 あくだう  
悪人 あくにん  
悪病 あくびやう  
三悪道 さんあくだう

3372 惱 (惱) 十悪 じふあく  
惱乱 ぼうらんす  
煩惱 ぼんぼう

3395 意 意見 いけん  
金如意珠 こんにぎしゆ  
いしゆ  
本意 ほんい

3404 愚 愚直 ぐちき  
引用句

3405 愛 引用句

3431 慈 引用句 慈悲 ひひ

3452 慚 無慚 むざん  
3458 慢 輕慢 ちやうまんす  
3486 憂 引用句  
3550 應 (応) 相応和尚 じやうおう

3585 懷 (懷) 懷妊 くわいにむ  
中納言善懷 ちゆうなごんよしちか

4 七 部 成 引用句 寶成成就 ほうじやうじゆう  
成仙 じやうびん  
成信中将 なるのぶ  
のちうじやう  
法成寺 ほうじやう

3611 我 我等 われら  
引用句

3612 戒 持戒 ちかい  
破戒 ぱかい

3617 戲 破戲 ぱげ  
引用句

4 戸 部 3644 房 ぼう  
三位中将師房 さんまいちゆうじやうし  
のちうじやう

3647 所 名所 めいしよ

4 手 部 3657 手 て 引用句  
千手 せんしゆ  
千手陀羅尼 せんじゆだらに  
千手陀羅尼經 せんじゆだらにきやう

3666 打 哥苑抄 かえんせう  
拾遺抄 しゆいせう

3694 抄 拾遺抄 しゆいせう

3778 拾 後拾遺 ごしゆい  
拾遺抄 しゆいせう

3780 持 受持 じゆちす  
持戒 ちかい  
持者 ちしや

3793 指 三教指帰 さんきやうしき  
指野史正 しまんび

3797 振 振慶 (実字) 巨國 じんたんにく  
振慶 (実字) 巨國 じんたんにく  
振動 しんどうす

3835 捨 引用句  
3836 提 阿耨菩提 あくぼだい  
出生菩提心經 しゆしやうぼだいし  
むまやう  
提婆達多 たいばだ

3899 摩 菩提 ぼだい  
菩提樹 ぼだいじゆ  
菩提心 ぼだいしん  
無上菩提 むじやうぼだい

4009 摩 摩訶陀園 まかつた  
摩耶夫人 まやにん

4017 接 來迎引接 らいごう  
いんせい

4 支部

435 政 まつりごと

434 故 故郷 こまやう

433 叙(叙) 時叙少将 とまきのぶ  
のせうしやう

426 教(教) 一代教主 いちぢい  
けうしゆ

教主 けうしゆ

三教指帰 さいぶげう

正教 しやうけう

大恩教主 だいにん  
けうしゆ

伝教大師 でんけう  
だいいし

内大臣左大将教道殿  
ないだいじんのさ  
だいいしやうのりみ  
ちどの

教道 のりみち

遺教 ゆいけう

423 救 救世 ぐせ

420 散 逃散 てうさんす

419 敵 怨敵 せんてき

416 開 開敷 かいひす

4 文部

421 文 ふみ もん もん  
ども

一文 文 いちもんじ

請文 うけぶみ

大聖文珠(殊宛字)  
だいいしやうもんじ

碑文 ひもん

文選 もんぜん

文武 もんぶ

4 斤部

4376 新 新羅 しんら

新羅国 しんらこく

六条新院 ろくぢやう  
のしんぬん

4 方部

4375 方 北方 きたのかた

十方 じふぱう

十方世界 じふぱう  
せかい

4389 於 方等 ほうとう

4 日部

444 日

一日 いちにち

一日一夜 いちにち  
いちや

日記家 にまのいへ

日本記(紀/宛字)  
にほんき

百日 ひやくにち

日吉 ひよし

毎日 まいにち

444 旦

振(震/宛字)旦 しんたん

震旦国 しんたんこく

振(震/宛字)旦 しんたん

445 旨

振(震/宛字)旨 しんたんこく

八旬 はちじゆん

4485 明

光明 くわうみやう

清明 せいめい

善明天子 ぜんみやう  
うてんし

のせうしやう

4474 晨 晨朝 しんてうごと

4473 普 引用句

4461 智 大食無智 たいしよ  
くむち

智証大師 ちしやう

智匠 ちしん

智恵 ちえ

天智天皇 てんちてん

那智のやま なちのやま

無智 むち

蘭城寺内供智 らんじやうじのな  
ぐちちう

4420 曆(曆) 延曆寺 えんりやく

4417 曉 あひつき

4 日部

4416 會(會) 大嘗会 たいじやう

会昌天子 えしやう

てんし

4 月部

4493 月 つぎ

あか月 あかつき

五月 ごくわち

三月 さむぐわち

七月 しちぐわち

月詣集 つままうで

しふ

六月 ろくぐわち

六月 ちち

4494 月 引用句

中書 ちゆう

二十五有 にじふご

4495 服

衣服 えふく

4496 望 引用句

関院左大将朝光 ひんみんのさだいし

4497 朝 引用句

やうあさみつ

晨朝 しんてうご

丹後守為忠朝臣 たんごのかみためた

だあそむ

木朝 ほんてう

4498 期 一期 いちご

木部

4499 木 木草 きくさ

草木 さうもく

4500 木 東大寺禅林 とうだ

いじせむりむ

4501 木 東山 ひがしやま

木草 きくさ

4502 木 東大寺禅林 とうだ

いじせむりむ

4491 木石 ぼくせき

4492 未代 まつだい

4493 西坂本 にしさかも

4494 日本記(紀/宛字)

4495 本意 ほんい

4496 本尊 ほんぞん

4497 本朝 ほんてう

4498 後朱雀 ごしゆじや

4499 後朱雀 ごしゆじや

4500 後朱雀 ごしゆじや

4501 後朱雀 ごしゆじや

4502 後朱雀 ごしゆじや

4503 後朱雀 ごしゆじや

4504 後朱雀 ごしゆじや

4505 後朱雀 ごしゆじや

4506 後朱雀 ごしゆじや

4507 後朱雀 ごしゆじや

4508 後朱雀 ごしゆじや

4509 後朱雀 ごしゆじや

4510 後朱雀 ごしゆじや

4511 後朱雀 ごしゆじや

4512 後朱雀 ごしゆじや

4513 後朱雀 ごしゆじや

4514 後朱雀 ごしゆじや

4515 後朱雀 ごしゆじや

4516 後朱雀 ごしゆじや

4517 後朱雀 ごしゆじや

4518 後朱雀 ごしゆじや

4519 後朱雀 ごしゆじや

4520 後朱雀 ごしゆじや

4521 後朱雀 ごしゆじや

4522 後朱雀 ごしゆじや

4491 枇杷殿中宮 びはどのちうぐう

4492 高松殿うへ たがま

4493 高松院 たがまつの

4494 枇杷殿中宮 びはどのちうぐう

4495 雙林寺 さうりむじ

4496 大林精舎 だいりむ

4497 東大寺禅林 とうだ

4498 東大寺禅林 とうだ

4499 東大寺禅林 とうだ

4500 東大寺禅林 とうだ

4501 東大寺禅林 とうだ

4502 東大寺禅林 とうだ

4503 東大寺禅林 とうだ

4504 東大寺禅林 とうだ

4505 東大寺禅林 とうだ

4506 東大寺禅林 とうだ

4507 東大寺禅林 とうだ

4508 東大寺禅林 とうだ

4509 東大寺禅林 とうだ

4510 東大寺禅林 とうだ

4511 東大寺禅林 とうだ

4512 東大寺禅林 とうだ

4513 東大寺禅林 とうだ

4514 東大寺禅林 とうだ

4515 東大寺禅林 とうだ

4516 東大寺禅林 とうだ

4517 東大寺禅林 とうだ

4518 東大寺禅林 とうだ

4519 東大寺禅林 とうだ

4520 東大寺禅林 とうだ

4521 東大寺禅林 とうだ

4522 東大寺禅林 とうだ

4491 桃園中納言保光 も

4492 桃梅桃李 やうばい

4493 梁武王 りやうのぶ

4494 桃梅桃李 やうばい

4495 一条院 いちでうゐ

4496 二条院 にでうゐ

4497 三条院 さんでうゐ

4498 西三条大将 さいさん

4499 西三条大将 さいさん

4500 西三条大将 さいさん

4501 西三条大将 さいさん

4502 西三条大将 さいさん

4503 西三条大将 さいさん

4504 西三条大将 さいさん

4505 西三条大将 さいさん

4506 西三条大将 さいさん

4507 西三条大将 さいさん

4508 西三条大将 さいさん

4509 西三条大将 さいさん

4510 西三条大将 さいさん

4511 西三条大将 さいさん

4512 西三条大将 さいさん

4513 西三条大将 さいさん

4514 西三条大将 さいさん

4515 西三条大将 さいさん

4516 西三条大将 さいさん

4517 西三条大将 さいさん

4518 西三条大将 さいさん

4519 西三条大将 さいさん

4520 西三条大将 さいさん

4521 西三条大将 さいさん

4522 西三条大将 さいさん

4491 周梨殿時 しゅうりは

4492 証空阿闍梨 しょうく

4493 梶取 かにどり

4494 梶取 かにどり

4495 梶取 かにどり

4496 梶取 かにどり

4497 梶取 かにどり

4498 梶取 かにどり

4499 梶取 かにどり

4500 梶取 かにどり

4501 梶取 かにどり

4502 梶取 かにどり

4503 梶取 かにどり

4504 梶取 かにどり

4505 梶取 かにどり

4506 梶取 かにどり

4507 梶取 かにどり

4508 梶取 かにどり

4509 梶取 かにどり

4510 梶取 かにどり

4511 梶取 かにどり

4512 梶取 かにどり

4513 梶取 かにどり

4514 梶取 かにどり

4515 梶取 かにどり

4516 梶取 かにどり

4517 梶取 かにどり

4518 梶取 かにどり

4519 梶取 かにどり

4520 梶取 かにどり

4521 梶取 かにどり

4522 梶取 かにどり



應業 あくじい  
 伊賀守為業 いがの  
 かみためなり  
 志岐守頼業 いまの  
 かみよりなり  
 罪業 ざいごい  
 自業自得果 じごい  
 じとくわ  
 定業 ちやうごい  
 業平中將 はりひら  
 のちうじやう  
 業房中將 はりひら  
 のちうじやう  
 非業 ひごい  
 皇極天皇 くわうき  
 よくてんわう  
 極楽 ごくらく  
 往生極楽 わうじや  
 うごくらく  
 5279 樂(樂) たのし  
 楽屋 がくや  
 化(状)宛字(樂) くま  
 うく  
 極楽 ごくらく  
 往生極楽 わうじや  
 うごくらく

530 樹 劫楽樹 くばじゆ  
 菩提樹 ぼだいじゆ  
 531 橋 橋能俊 たちばなの  
 よしとし  
 536 機 万機 ばんき  
 537 檀 梅檀 せんたん  
 梅檀杏 せんたんか  
 538 櫻(桜) 秘梅桃李 やうばい  
 たうり  
 539 櫻(櫻) 熊野権現 くまのご  
 んげん  
 4 尺部  
 5609 歌 うた [116哥]  
 和歌 わか  
 5637 歌 ↓ [1099観]  
 4 止部  
 5643 正 正覚 しゃうがく  
 正教 しゃうけう  
 5644 此 臨終正念 りむじゆ  
 しゃうねむ  
 5649 武 漢武 かんぶ  
 この 引用句

魏武帝 ぐゐのぶて  
 周武王 しうのぶわ  
 多武峯 たむのみね  
 文武 もんぶ  
 梁武王 りやうのぶ  
 わう  
 544 歳 徳千歳 おくせんざい  
 七歳 しちさい  
 549 歸(帰) 帰依 くるえ  
 くるえ  
 三教指帰 さむけう  
 しくるみ  
 4 歹部  
 5686 死 しす しぬ  
 引用句  
 死骸 しがい  
 死苦 しく  
 生死 しゃうし  
 5701 殊 ↓ 珠  
 4 几又部  
 5702 段 二段 にだん  
 5709 殿 栗田右大臣殿 あり  
 たのうだいじんご

宇治殿 うちどの  
 大ニ条殿 おほにで  
 うどの  
 宮殿 くうぐん  
 九条殿 くどうどの  
 九条右大臣殿 くで  
 うのうだいじんご  
 の  
 西宮殿 さいぐうど  
 の  
 七条殿 しちどうど  
 の  
 高松殿 うへたかま  
 つどののうへ  
 殿原 とのぼら  
 内大臣左大將教道殿  
 ないだいじんのさ  
 だいしやうのりみ  
 ちどの  
 南殿 なんとん  
 批把殿中宮 びはど  
 ののちうぐう  
 4 母部  
 5734 母 はは  
 御母 おむはは  
 国母 こくも  
 老母 らうも  
 5736 毎 毎日 まいにち  
 毎早 まいねん  
 三毒 さむどく

毒虫 どくちう  
 4 比部  
 けうとむ比丘尼 け  
 うどむびくに  
 指鬘比丘 しまんび  
 く  
 善星比丘 ぜんしや  
 うびく  
 比丘 びく  
 六軍比丘 ろくぐん  
 びく  
 5445 毗沙離國 びしやり  
 4 毛部  
 毛拳 もうきよ  
 4 氏部  
 5732 氏 安倍氏 あべうぢ  
 安倍(倭)宛字(氏) あ  
 べのうぢ  
 王氏 わうし  
 5735 氏 人民 にんみん  
 民部卿長家 みんぶ  
 きやうながいへ  
 民部卿保則 みんぶ  
 きやうやすのり

4 水部

5952 水  
清みず  
清水寺 きよみずで

住宝珠 ちうさい  
ほうしゆ

こほり

5977 5956 永  
永観律師 やうくわんりつし

んりつし

5944 末  
求願 ぐくわん  
求羅 ぐら  
随求陀羅尼 すいすだらに  
おいに

おいに

なむち

5986 5983 池  
白鷺池 はくろち  
いけ

6003 末  
引用句

決定往生 けつていじやう  
やうわうじやう

6031 沙  
恒河沙 ぎやうがしや  
沙弥 しやみ  
沙門 しやもん  
少沙弥 せうしやみ  
毗沙離國 ひしやり

645 河  
かほ ↓ 2382 川  
河崎六角堂 かわさきむすろくかくだう  
きのろくかくだう  
河内國 かわちのくに

6052 油  
人魚油 にんぎよのあぶら

6055 治  
守治殿 うぢどのちす

6063 泉  
九泉 きうせん  
玉泉寺 ぎよくせん

後冷泉院 ごれいぜい  
いぬん

神泉苑 しんせんゑん

冷泉 れいぜい  
冷泉川 れいぜい

冷泉院二宮 れいぜい  
かほら

いぬんのにのみや

6074 法  
花山法皇 くわざん  
のほふわう

寛平法皇 くわんへい  
いのほふわう

弘法大師 こうぼう  
だいいし

俊恵法師 しゆんゑ  
ほかし

説法 せつぼう  
せつぼう

仏法 ぶつぼう  
ぶつぼう

仏法僧 ぶつぼう  
ぶつぼう

う  
法花 ほうくゑん  
法花經 ほうくゑんぎやう

法財王子 ほうざい  
わうじ

法師 ほうし  
ほうじ

法成寺 ほうじやう  
ほうじ

法身 ほうしん  
ほうしん

法住寺 ほうぢやう  
ほうぢやう

法名 ほうめい  
ほうめい

法藏 ほうざう  
ほうざう

法華 ほうわ  
ほうわ

万法 ばんぽう  
ばんぽう

山寺法師 やまてら  
ほうし

6086 渡  
耆我(耆ノ宛字)大匠 せがだいいじん  
ぎばだいいじん

聖持波羅門 せいぢばらもん  
せいぢばらもん

波羅門 ばらもん  
ばらもん

大波羅 たいばら  
たいばら

6144 渡  
祇洹(園ノ宛字)寺 ぎこんじ  
ぎこんじ

祇洹(園ノ宛字)精舎 ぎこんしやうじや  
ぎもんしやうじや

6151 流  
流(珠ノ宛字)球 りう  
りう

6182 海  
海渚 かいしよ  
かいしよ

苦輪海 くりんかい  
くりんかい

四海 しかい  
しかい

大海 たいかい  
たいかい

南海 なんかい  
なんかい

6199 涅  
涅槃 ねはん  
ねはん

涅槃經 ねはんぎや  
ねはんぎや

6192 清  
清涼 せいりやう  
せいりやう

6200 清  
清露 せいりやう  
せいりやう

6230 涼  
清涼 せいりやう  
せいりやう

6272 淨(淨)もじ  
淨和 じやうせつ  
じやうせつ

淨土 じやうど  
じやうど

淨飯王 じやうばん  
じやうばん

淨目天子 じやうもく  
じやうもく

6290 深  
不淨 ぶじやう  
ぶじやう

6295 深  
清水寺 きよみずで  
きよみずで

6297 清(清)  
清行脚 きやうぎやう  
きやうぎやう

6298 清  
清涼 せいりやう  
せいりやう

せいりやう  
せいりやう

632 清  
海渚 かいしよ  
かいしよ

6318 渡  
渡海 とかいす  
とかいす

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

6312 渡  
法藏 ほうざう  
ほうざう

火しやう三昧 くわ

火車 ひのくま

猛火 みやうくわ

674 灰 はい

680 炎 えむてん

681 鳥 からす

682 鳥 鴉 うしつ

683 鳥 鴉 (鳥鴉ノ宛字)

684 鴉 せせ

685 鴉 せせ

686 鴉 せせ

687 鴉 せせ

688 鴉 せせ

689 鴉 せせ

690 鴉 せせ

691 鴉 せせ

692 鴉 せせ

693 鴉 せせ

694 鴉 せせ

695 鴉 せせ

696 鴉 せせ

697 鴉 せせ

698 鴉 せせ

699 鴉 せせ

700 鴉 せせ

701 鴉 せせ

702 鴉 せせ

703 鴉 せせ

704 鴉 せせ

大焦熟 たいせうね

682 焔 焔

焔 (閻ノ宛字) 魔王

えむまだいわう

焔 (閻ノ宛字) 魔王

えむまわう

焔 (閻ノ宛字) 魔王

えむまわうくう

685 焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

焔 焔

702 鳥 (鳥)

伊賀守為業 いがの

かみためびり

丹後守為忠朝臣 た

んごのかみためた

たあそむ

長門守為経 はがと

のかみためつね

薩摩為頼 ふちはら

のためより

4 父部

父 ちち

4 牛部

牛 うし

706 物 もの

707 物 もの

708 物 もの

709 物 もの

710 物 もの

711 物 もの

712 物 もの

713 物 もの

714 物 もの

715 物 もの

716 物 もの

717 物 もの

718 物 もの

719 物 もの

720 物 もの

721 猿 猿

猿 猿

722 猿 猿

723 猿 猿

724 猿 猿

725 猿 猿

726 猿 猿

727 猿 猿

728 猿 猿

729 猿 猿

730 猿 猿

731 猿 猿

732 猿 猿

733 猿 猿

734 猿 猿

735 猿 猿

736 猿 猿

737 猿 猿

738 猿 猿

739 猿 猿

740 猿 猿

741 猿 猿

742 猿 猿

743 猿 猿

744 猿 猿

745 猿 猿

746 猿 猿

747 猿 猿

748 猿 猿

微宋王 ますわう

金輪聖王 きむりん

しやうわう

具平親王 ぐへいの

しんわう

空王仏 くわうぶつ

國王 こくわう

青威王 せいのおわ

周武王 しうのぶわ

山王 さんわう

四天王寺 してんわ

うじ

淨飯王 じやうばん

わう

善見葉王 ぜんけん

やくわう

大聖不動明王 だい

しやうふどうみや

うわう

大聖明王 だいしや

うみやうわう

大王 だいわう

人葉玉子 になやく

わうじ

八王字 (ノ宛字)

はちわうじ

法財玉子 ほうざい

わうじ

明王 みやうわう

魔王 まわう

影賢王 やうけんわ

三二七

梁武王 りやうのび

王官 わうくわう

王氏 わうし

王子 わうじ

金如意珠 こんにょいしゆ

照葉珠 せうえふのたま

大聖文珠 だいせいぶんじ

住水宝珠 じゆすいほうしゆ

熊野権現 くまのごんげん

現身 げんしん

現世 げんせい

現存集 げんぞんし

現當 げんたう

流 りゅう

琉 りゅう

琉 りゅう

鳥 とり

栗 くり

劍 けん

生 せい

一切 いっせつ

決定 けつてい

後 ご

今 いま

狂 きやう

生 せい

多 た

存 ぞん

利 り

往 わう

往 わう

往 わう

往 わう

栗田右大臣殿 あは

田夫 てんぷ

田田明神 ひうていのみやうじん

一百 いちひゃく

申 まうす

申 まうす

申 まうす

男子 なんし

十方 じふぱう

魔界 まがい

施無畏 せむゐ

善無畏 ぜんむゐ

俱留孫 くろそん

番 ばん

番 ばん

現當 げんたう

正部

疑 ぎ

疒 びやく

惡病 あくびやう

衆病 しゆびやう

病患 びやうぐゑん

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

瘡 そう

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

くわんぱく

天智天皇 てんちて  
んわう

5 皿部

797益(蓋) 利益 りやく

799盛 藤原親盛 ふぢはら  
のちかもり

5 目部

790目

淨目天子 じやうも  
くてんし

796盲 盲目 まうもく

799直 愚直 ぐちま

780相

相具 あひぐす

九条右丞相 くぢう  
のうじやうしやう

相応和尚 さうおう  
くわしやう

相人 さうにん

善宰相清行卿 ぜん  
さいしやうきよゆ

7827真(眞) 真言 しんごん

7843眼

御眼 おみまなこ

8044眼 眼前 けんぜん  
引用句

一切疲倦 いつさい  
しゆじやう

8045衆 衆病 しゆびやう

8046瞶 瞶瞶 くらくら

8047瞶 瞶瞶 しん

8048瞶 瞶瞶 しん

8049瞶 瞶瞶 くらばく

5 石部

7974石 木石 ぼくせき

7986破 破戒 ばかり

8019碑 碑文 ひもん

8071破 碑文 いしずえ

5 示部

8107祇 祇園(園/宛字)寺

祇園(園/宛字)精舎

8108祈 僧祇 そうぎ

8108祈

祈請 きせいす

8116祇 ↓「神祇」  
814神 神功皇后 じんこう  
くわうごう

神泉苑 しんせんえん

8143禁 禁中 きんちゆう

8162禪(禪) 東大寺禪林 とうだい  
いじせむりむ

8163禁 禁中 きんちゆう

8164禁

8165禁 禁中 きんちゆう

8166禁 禁中 きんちゆう

5 禾部

8167秋

8168秦

8169秘

8244種

8245種

8246種

8247種

8248種

5 匚部

8291匚 空世聖人 くらうせい  
じん

8292匚 空王仏 くらうぶつ

8293匚 虚空 くらうこく

8294匚 証空阿闍梨 しょうく  
あせり

5 立部

8354立 建立 こんりふ

8366童 公章 ちゆうぢゆう

8371童 善財童子 ぜんざい  
どうじ

8372童 天童子 てんどうじ

8373童 童子 どうじ

8374童 童子 どうじ

8375童 童子 どうじ

8376童 童子 どうじ

8377童 童子 どうじ

8378童 童子 どうじ

8379童 童子 どうじ

8426等 第四 だいし  
第六天 だいろくてん

8427等 第二 だいに

8428等 第一 だいいち

8429等 第三 だいてい

8430等 第三 だいてい

8431等 第三 だいてい

8432等 第三 だいてい

8433等 第三 だいてい

8434等 第三 だいてい

8435等 第三 だいてい

8436等 第三 だいてい

8437等 第三 だいてい

8438等 第三 だいてい

8439等 第三 だいてい

8440等 第三 だいてい

8441等 第三 だいてい

8442等 第三 だいてい

紀州 きのくに

紅蓮 くれん  
紅葉 こうえん  
大紅蓮 だいくれん

大納言 だいばごん  
大納言中官大夫能信  
だいばごんちゆうぐ  
うのたいふよしの  
ぶ

大納言東宮大夫頼宗  
だいばごんとうぐ  
うのたいふよりむ  
ね

中納言美懐 ちゆうば  
ごんよしちか  
秘園中納言保光 も  
もそののちうなご  
んやすみつ

山井大納言道頼 や  
まのぬのたいばご  
んみちより

色紙すき しきしす  
き

白紙 びやくし

紫宸 ししん

命終 みやうじゆ  
臨終正念 りむじゆ  
じやうねむ

給 たまひ  
うけ給はま うけた  
まはま

の給ふ のたまふ  
給孤獨園 きふこど  
くをん

一切経 いっさいき  
やう

経論 きやうろん  
草庵経 くそむき  
やう

十輪経 じふりんぎ  
やう

出家功德経 しゆつ  
けくどくぎやう

出住菩提心経 しゆ  
つしやうぼだいし  
むきやう

千手陀羅尼経 せん  
じゆだらにぎやう

大般若経 だいぱん  
にやまやう

長門守為経 ながと  
のかみためつね

涅槃経 ねはんきや  
う

秘密蔵経 ひみつざ  
うまやう

譬喩経 ひゆきやう  
藤原家經 ふちはら  
のいへつね

宗積経 ほうしやく

法花経 ほくくそき  
やう

續下(續) けつげ  
續那 ゆいな

惡縁 あくえん  
因縁 いんえん  
縁覚 えんがく

瞿曇 くぼく  
瞿禰波羅門 くぼく  
ばらもん

繁昌 はんじやうす  
繪像 えざう

續詞花集 しよくし  
くわしひ

6 四部 つみ 引用句  
罪業 ざいごふ  
罪人 ざいにん  
重罪 ちゆうざい

安置 あんちす  
引用句 ちゆうじゆ  
阿防羅刹 あぼうら  
せつ

奄(奄/宛字)羅葉

あむらくわ  
瞿禰波羅門 くぼく  
ばらもん

新羅 しんら  
新羅國 しんらくこく  
隨求陀羅尼 ずいそだらに

千手陀羅尼 せんじ  
ゆだらに

千手陀羅尼経 せん  
じゆだらにぎやう

薄勝陀羅尼 そんし  
ようだらに

波羅門 ばらもん  
室薩印陀羅尼 ぼう  
じゆいんだらに

魔醯修(音/宛字)羅 まけいしゆら  
羅漢 らかん  
羅跋羅 らごら

羅刹せ らせつによ  
六波羅 ろくはら

6 羊部 ひつじ  
群衆 ぐんるい

中納言美懐 ちゆうば  
ごんよしちか

6 羽部 茨項羽 そのかうう

6 老部 天老 てんらう  
老俊 らうじゆ  
老僧 らうそう  
老母 らうも

6 老部 引用句 うはり尊者 うばり  
そんじや  
かせう尊者 かせい  
そんじや

行者 ぎやうじや  
舍利弗尊者 しやり  
ほつそんじや  
須達長者 しゆたつ  
ちやうじや

持者 かしや  
長者 ちやうじや

6 兼部 者婆 ざば  
者波婆(宛字)大臣 ざばだいじん

阿耨菩提 あのかほ  
だい

6 耳部

921 摩耶夫人 まやぶに

920 聖 金輪聖王 きむりん

空世聖人 くうやし

聖人 しゃうにん

大聖 たいしやう

大聖観世音菩薩 だいしやうくわんぜ

大聖不動明王 だいしやうぶどうみやう

大聖明王 だいしやうみやう

915 聞 引用句

914 聲 (声) 声聞 しゃうもん

912 職 重職 ちやうしやく

935 聽 (聴)

聴聞 ちやうもん

939 育 阿育王 あいくわう

943 胤 仲胤 ちういん

942 能 引用句

936 脇 左脇 さけし

936 腰 他腰 たかく

936 膽 (胆) (胆) (宛字) せ

936 臣 粟田右大臣殿 あは

936 臣 栗田右大臣殿 あは

936 臣 栗田右大臣殿 あは

936 臣 栗田右大臣殿 あは

自余 じよ

吉備大臣 きびの

九条右大臣殿 くじやう

関白左大臣 くわんぱく

大臣 だいにん

大臣等 だいにんら

土御門右大臣 つちのみかど

内大臣 ないだいにん

内大臣左大将 だいにんさだ

臨終正念 りんじゆう

6 自部 自業自得果 じよく

6 自部 自業自得果 じよく

6 至部

940 至 引用句

941 致 兵部卿致平 ひやう

6 白部 白部 びやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

942 樂 智樂 ちりやく

6 舟部

965 般 周梨般時 しうり

965 般 大般若經 だいぱん

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

965 般 般若 ぱんじやく

法花 ほふくえ  
法花経 ほふくえき  
やう

蓮花 れんぐえ  
蓮花世 れんぐえに  
よ

哥苑抄 かえんせう  
神泉苑 しんせんえん

大般若経 だいぼん  
にやきやう

般若 わかば  
引用句

苦行 くぎやう  
苦患 くゑん

大悲苦 だいひく  
賀茂重保 かもものし

賀茂成助 かももの  
りすけ

木草 きくさ  
草木 さうもく

花鹿 くわいはい  
賀茂(花)

荏葳 しやうごむ  
きく

阿耨菩提 あのおくぼ  
引用句

行基菩薩 ぎやうき  
ぼさつ

出は菩提心経 しゆ  
つしやうぼだいし

大聖觀世音菩薩 だいせいくわんせいおんぼ  
いしやうくわんぜ

不輕菩薩 ふきやう  
ぼさつ

菩提樹 ぼだいじゆ  
菩提心 ぼだいしむ

無上菩提 むじやう  
ぼだい

華嚴経 けわごん  
やう

金葉集 きんえし  
金葉集 きむえし

紅葉 こうえい  
照葉球 せうえいぐま

紅蓮 くれん  
金蓮台 こむれんたい

四色蓮花 ししきれん  
んぐえ

青蓮 しやうれん  
大紅蓮 だいぐれん

蓮花 れんぐえ  
蓮花世 れんぐえに

大聖觀世音菩薩 だいせいくわんせいおんぼ  
いしやうくわんぜ

地蔵菩薩 ぢざうぼ  
おむぼさつ

不輕菩薩 ふきやう  
ぼさつ

給孤獨園 ぎふこどくえん  
くせん

秘園中納言保光 も  
もそののちうほご  
んやすみ

蘭城寺内供智樂 を  
んじやうじのはい  
ぐちこう

薰香 くんぎやう  
如藍 がらむ

善無畏三蔵 ぜんむ  
のさむざう

地蔵講 ぢざうかう  
地蔵講 ぢざうかう

地蔵菩薩 ぢざうぼ  
地蔵菩薩 ぢざうぼ

藤原家経 ふぢはら  
のいへつね

藤原為頼 ふぢはら  
のためより

藤原親隆 ふぢはら  
のちがもり

善見樂王 ぜんけん  
やくわう

人葉王子 にんやく  
わうじ  
法葉 ほふやく

葉師 やくし  
葉師如來 やくしに  
みらい

葉童子 やくどうじ  
6虎部

虚(虚) 引用句  
虚空 こく

6 虫部  
田融院 えんいうゐ

6 行部  
行 おこなひ ぎやう

行願寺 かほらう  
ぎやうぐわんじ

行基菩薩 ぎやうき  
ぼさつ

行春 ぎやうじや  
清行脚 きよぎやく

苦行 くぎやう  
修行 しゆぎやう

善宰相清行脚 ぜん  
さいしやうきやく  
さきのぎやう



百鬼夜行 ちやくく  
るやぎやう

夜行 やぎやう

10626 衛(衛)  
近衛 こんえ  
待賢門院兵衛 たい  
けんもんのみんの  
ひやうえ

6 衣部

10637 衣 ころも  
衣服 えふく  
上(薄)宛字衣 じ  
やうえ

10649 衰 衰弊 すいへい  
る(助動詞)

6 西部

10620 西 西官殿 すいぐうど  
の  
西三条大將 すいさん  
むでうのだいしや  
う  
上西門院 じやうた  
いもんのみん  
鎮西 ちんせい  
西坂本 にしさがも  
と  
西御前 にしのごぜ  
ん

7 見部

10831 見 竟見 いけん  
善見薬王 ぜんけん  
やくわう  
見つく みつく  
見まはす みまはす

10848 親 具平親王 ぐへいの  
しんわう  
藤原親盛 ふかはら  
のちかもり

10856 覺(覚) 緣覚 えんがく  
正覚 しやうがく  
あなふの観音 あな  
ふのくわんおむ  
かねがさきの観音  
かねがさきのくわ  
んおむ  
観音 くわんおむ  
観音院 くわんおむ  
なん

10857 觀(観) 引用句  
あなふの観音 あな  
ふのくわんおむ  
かねがさきの観音  
かねがさきのくわ  
んおむ  
観音 くわんおむ  
観音院 くわんおむ  
なん

観音 くわんおむ  
観音院 くわんおむ  
なん

親(款/宛字) 暮く  
わんご  
こかはの観音 こか  
はのくわんおむ  
大聖觀世音菩薩 だい  
しやうくわんおむ  
おむぼさつ  
なりあひの観音 な

7 角部

永觀律師 ちやくくわ  
んりつし

10860 角 河崎六角堂 かわさ  
きのろくかくだう

7 吉部

10890 言 金言 きんげん  
直言 しんごん  
大納言 だいなごん  
大納言中宮大夫能信  
だいなごんちうご  
うのたいふよしの  
ぶ  
大納言東宮大夫頼家  
だいなごんちうご  
うのたいふよりの  
ね  
中納言美懐 ちうな  
ごんよしちか  
桃園中納言保光 も  
もぞのちうなご  
んやすみつ  
山井大納言道頼 や  
まのみのだいなご  
んみちより  
10914 記 駿記 げんき

内記入道保胤 ない  
きのにふだうやす

日本記(紀/宛字) にほんき  
証空 しょう  
証空河間梨 しょう  
くあじやり  
証果 しょうくわ  
智証大師 ちしょう  
だいし  
10940 証 証空 しょう  
証空河間梨 しょう  
くあじやり  
証果 しょうくわ  
智証大師 ちしょう  
だいし

証空 しょう  
証空河間梨 しょう  
くあじやり  
証果 しょうくわ  
智証大師 ちしょう  
だいし

10940 証 証空 しょう  
証空河間梨 しょう  
くあじやり  
証果 しょうくわ  
智証大師 ちしょう  
だいし

証空 しょう  
証空河間梨 しょう  
くあじやり  
証果 しょうくわ  
智証大師 ちしょう  
だいし

10967 詞 純詞花集 じゆんし  
くわしふ  
10994 語 月詔集 つきまうで  
しふ  
11008 誓 引用句  
誓願 せいぐわん  
誕生 たんじやう  
1107 語 梵語 ぼんご  
大和物語 やまとも  
のがたり  
11023 語 諺語 じゆす  
諺語 じゆす  
11094 語 摩訶陀國 まかただ  
こく

11205 説 説法 せつぽふ

11038 調 貢調 くるうす  
請(請) しやうふ  
請文 うけびみ  
祈請 きせいす

11049 請(請) しやうふ  
請文 うけびみ  
祈請 きせいす

11058 論 經論 きやうろん  
引用句  
諸山 じよざん  
諸寺 じよじ  
諸僧 じよそう  
諸仏 じよぶつ

11085 諸 諸山 じよざん  
諸寺 じよじ  
諸僧 じよそう  
諸仏 じよぶつ

11095 講 講教 かうしやう  
地蔵講 ちざうかう

11109 啓 啓諭 けいご  
ひゆきやう

11200 護 守護人 しゆごにん  
へんか

11215 變(変) へんか

11327 貝 貝 かい

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

11324 財 善財童子 ぜんざい  
どうじ  
法財王子 ほうざい  
わうじ

1132 食 ども  
1133 食 たしとし  
1134 御 伊賀守為業 いがの  
かみためなり  
御賀 おむが  
賀茂重保 かものし  
げやす  
賀茂成助 かものな  
りすけ  
五十御賀 ごじふの  
おむが

1137 資 資様 しりやう  
侍賢門院兵衛 たい  
けんもんのみんの  
ひやう又  
影賢王 やうけんわ  
う

1141 頼 (頼) 志岐守頼業 いまの  
かみよりなり  
大納言東宮大夫頼宗  
だいなごんとうぐ  
うのたい小よりむ  
ね

1144 藤原為頼 ふちはら  
のためより  
山井大納言道頼 や  
まのみのだいなご  
んみちより  
頼道 よりみち

1145 走部 7 走部  
1147 起 寂起 じやくてう  
1148 起 越前因 えちぜんの  
くに  
1149 起 惠起 あくしゆ  
7 足部  
1150 起 重跡 すいしやく  
仏跡 ぶつせき  
1151 起 世跡 せろ

1152 身 化身 くましん  
現身 げんしん  
人身 じんじん  
仏身 ぶつしん  
法身 ぽうしん  
御隨身 みずいじん  
7 車部  
1153 車 くるま  
三車 さんしや  
火車 ひのくるま  
1154 軍 將軍 しやうぐん  
六軍比丘 ろくぐん

1155 師 師範 もろすけ  
1156 輕 (輕) 輕信 きやうまんす  
不狂菩薩 ふきやう  
ぼさつ  
1157 鳳 鳳皇御輿 ほうれん  
のみこし  
1158 輪 金輪聖王 きんりん  
しやうわう  
苦輪海 くりんかい  
十輪經 じふりんき  
やう

1159 藥 御藥 みこし  
鳳皇御輿 ほうれん  
のみこし  
7 辰部  
1160 辱 忍辱 にんにく  
7 走部  
1161 近 近衛 こんえ

1162 迎 東迎 とういかう  
東迎引扱 とういかう  
いんせ小  
1163 近 近衛 こんえ

1164 通 一返(通/宛字) ひとつ  
へん  
返々 かへすがへす  
百万返(通/宛字)  
ひやくまんべん  
1165 廻 廻慶 かいようび  
ん  
廻廻 しかか  
尺(秋/宛字)廻 しゃ  
尺(秋/宛字)廻如來  
しやかにようい  
1166 追 追善 ついぜん  
1167 逆 逆修 ぎやくしゆ  
1168 逆 逆修 ぎやくしゆ  
1169 逆 逆修 ぎやくしゆ

1170 途 三途 さんず  
冥途 めいど  
すみやかなり  
引  
1171 途 出家通世 しやつけ  
とんせいす  
引用句  
1172 途 入道寂然  
みひはのにおだう  
1173 途 道兼 みちかね  
道長 みちなが

1174 途 内大臣左大将教道殿  
ないだいじんのお  
だいしやうのりみ  
ちどの  
1175 途 教道 のりみち  
1176 途 仙道 ぶつだう  
参三(宛字)川河(宛字)  
入道寂然  
みひはのにおだう  
1177 途 道兼 みちかね  
道長 みちなが

1178 途 道兼 みちかね  
道長 みちなが

1179 途 道兼 みちかね  
道長 みちなが

山井大納言道頼  
まのみのだいはご  
んみちより  
頼道 よりみち

12052 遠  
公達 まむ下ち  
君達 きむ下ち  
須達 しゆ下ち  
須達長者 しゆ下ち  
ちやうじや  
提達 たいばた  
つた  
せ公達 をむなまむ  
下ち

12070 遠  
遠国 ゑんこく  
おそし  
文選 もんぜん

12109 遠  
後拾遺 ごしゆい  
拾遺抄 しゆいせう  
遺教 ゆいけう  
引用句  
遺俗 くゑんぞくす  
へん ほとり

12134 那  
那智のやま はちの  
やま  
那那 ゆいは

12168 那  
那智のやま はちの  
やま  
那那 ゆいは

12176 郡  
二郡 じらう  
太郡 たらう  
こほり

12184 郡  
都(兜ノ宛字) 率と  
そつ  
南郡 なむと  
郷(郷) げう  
故郷 こまやう  
二万郷 にまんげう

12341 醫(医)  
医王 いわう

12345 醫(医)  
魔修(首ノ宛字) 羅  
まけいしゆら

12371 釋(釈)  
釈迦 しやか  
釈雄俊 しやくお  
しゆん  
釈尊 しやくそん

12371 釋(釈)  
釈迦 しやか  
釈雄俊 しやくお  
しゆん  
釈尊 しやくそん

12372 里  
千里派 せんりのは  
ま

12373 重  
引用句  
賀茂重保 かものし  
げやす  
重家少将 しげいへ  
のせうしやう  
重信 しげのぶ  
重罪 ちうざい  
重々 ちうちう  
重痛 ちうびやう  
重職 ちようしやく

12374 野  
交野 かたの  
熊野権現 くまのこ  
んげん  
野更 やそう  
野馬 やば  
小野 せの

12376 量  
引用句  
無量 むりやう  
無量劫 むりやうご  
山

12380 金  
金部  
皆金色 かいこむじ  
き

12380 金  
金部  
皆金色 かいこむじ  
き

12406 鈍  
鈍根 どんこん

12440 鉢  
天童鉢 てんどうはち

12441 録(録)  
録西 ちんせい  
録西 ちんせい

12449 録(録)  
録西 ちんせい

12478 長  
須達長者 しゆたつ  
ちやうじや  
長安宮 ちやうあん  
く  
長者 ちやうじや  
長大 ちやうだい  
長徳元年 ちやうとく  
くぐわんねん

12478 長  
須達長者 しゆたつ  
ちやうじや  
長安宮 ちやうあん  
く  
長者 ちやうじや  
長大 ちやうだい  
長徳元年 ちやうとく  
くぐわんねん

12496 門  
長門守為経 はがと  
のかみためつね  
番長 ばんちやう  
道長 みちなが  
民部卿長家 みんぶ  
きやうながいへ

12499 門  
聖徳波羅門 くばく  
ばらもん  
建春門院 けんしゆ  
んもんのぬん  
後世門 ごせもん  
上西門院 じやうさい  
もんぬん  
上東門院 じやうとう  
もんぬん  
沙門 しやもん  
待賢門院兵衛 たい  
けんもんのぬんの  
ひやうゑ  
土御門右大臣 つち  
みかどのうだいじん

12496 門  
長門守為経 はがと  
のかみためつね  
番長 ばんちやう  
道長 みちなが  
民部卿長家 みんぶ  
きやうながいへ

12496 門  
長門守為経 はがと  
のかみためつね  
番長 ばんちやう  
道長 みちなが  
民部卿長家 みんぶ  
きやうながいへ

12496 門  
長門守為経 はがと  
のかみためつね  
番長 ばんちやう  
道長 みちなが  
民部卿長家 みんぶ  
きやうながいへ

12496 門  
長門守為経 はがと  
のかみためつね  
番長 ばんちやう  
道長 みちなが  
民部卿長家 みんぶ  
きやうながいへ

1212 関

関院左大将朝光 か  
んみんのさだいし  
やうあさみつ

1213 関

あひだ 引用句  
人間にんげん  
682 燈・722 球

1214 関

阿闍世王 あじやせ  
わう

1212 関(関)

関白 くわんぱく  
関白左大臣 くわん  
ぱくさだいじん  
御堂関白 みだう  
くわんぱく

8 皇部

1212 防

阿防羅刹 あばうら  
せつ

1210 阿

阿有王 あいくわう  
阿伽陀業 あかたや  
阿闍世王 あじやせ  
わう  
阿耨菩提 あのかほ  
むい

阿防羅刹 あばうら  
せつ

証空阿闍梨 しよう  
くあじやり

1281 院

阿伽陀薬 あかたや  
く

飛陀太子 しつたて  
いし

隨求陀羅尼 すいぐ  
だらに

千手陀羅尼 せんじ  
ゆだらに

千手陀羅尼経 せん  
じゆだらにきやう

梅陀羅 せんだら  
尊勝陀羅尼 そんし  
ようだらに

宝篋印陀羅尼 ほう  
けういんだらに

摩訶陀園 まかつだ  
こく

弥陀 みだ

1289 降

降伏 ぼうぷく

一条院 いちぢやういん

関院左大将朝光 か  
んみんのさだいし  
やうあさみつ

九条院 くぢやういん

観音院 くわんおむ  
みん

建春門院 けんしゆ  
んもんのみん

少(小)寛字一条院  
こいちぢやうのみん

後一条院 がいぢやう  
いん

後三条院 がいさん  
じやういん

後朱雀院 がいしゆじ  
いん

後白川(河)寛字院  
ごしらかはのみん

後冷泉院 がいれい  
せんいん

三条院 さんぢやういん

三条院一品宮 さん  
ぢやういんいちほん  
のみや

上西門院 じやうさい  
もんいん

上東門院 じやうとう  
もんいん

待賢門院兵衛 たい  
けんもんのみん

高松院 たかまつの  
いん

鳥養院 とりかひの  
いん

内院 ないいん

二条院 にぢやういん

陽明門院 やうめい  
もんいん

冷泉院二宮 れい  
せんいんにのみや

薄病院 へうびやう  
いん

六条新院 ろくぢやう  
のしんいん

院号 いんがう

円融院 えんいづみ  
いん

消除 せうぢよす

迦陵頻 かりほうびん

咸陽宮 かんやうきう

陽明門院 やうめい  
もんいん

隨喜 すいき

隨求陀羅尼 すいぐ  
だらに

御膳身 みずいじん

佳部

後朱雀 がいしゆじや

後朱雀院 がいしゆじ  
やくのみん

紙雄俊 しやくおう  
しゆん

雅信 まさのぶ

金葉集 きんえふし

現存集 げんそんし

純詞花集 しよくし

月詠集 つきまうて

宝物集 ほうぶつし

雙林寺 さうりむじ

出離 しゆつり

默沙離園 びしやり

離山 りさんす

鬼難 こんん 引用句

鬼難 こんん

雨部

大雪 おほゆき

1302 霞 いがすち  
1304 霞 しづめ  
1306 霞 じんたんこ

1307 霧 しも

1308 霧 けんろ

1309 雲 (雲)  
雲山 りやうせん  
雲駿 れいけむ

8 青部  
青蓮 しやうれん

1310 青 (青)  
青蓮 しやうれん

8 非部  
非業 ひごふ  
非情 ひじやう

9 吉部  
引用句  
あひのの観音 あは  
いのくわんおむ  
かねがさきの観音  
ひねがさきのくわ  
んおむ

1328 音 観音 くわんおむ  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1329 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1330 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1331 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1332 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1333 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1334 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1335 音 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1336 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1337 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1338 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1339 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1340 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1341 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1342 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1343 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1344 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1345 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1346 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1347 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1348 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1349 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1350 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1351 類 観音 じん  
観音院 くわんおむ  
観音 じん

1346 顯 (顯)  
顯信馬入道 あまの  
ぶのうまのにふた  
う

1347 顯 (顯)  
顯光 あきみつ  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1348 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1349 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1350 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1351 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1352 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1353 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1354 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1355 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1356 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1357 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1358 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1359 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1360 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

1361 顯 (顯)  
顯宗 けんしゆう

9 香部  
薰香 くんきやう  
梅檀香 せんたんか  
う

1362 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1363 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1364 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1365 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1366 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1367 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1368 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1369 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1370 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1371 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1372 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1373 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1374 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1375 香  
梅檀香 せんたんか  
う

1376 香  
梅檀香 せんたんか  
う

10 馬部  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ  
馬めし うまめし  
馬や うまや  
四馬 しば  
野馬 やば

1377 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1378 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1379 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1380 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1381 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1382 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1383 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1384 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1385 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1386 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1387 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1388 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1389 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1390 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

1391 馬  
右馬頭顯信 うまの  
かみあまのぶ

10 鬼部  
鬼難 くにん  
百鬼夜行 ひやくく  
みやぎやう  
ぬみ  
魏武帝 ぐゐのびて

1401 鬼  
鬼難 くにん

1402 鬼  
鬼難 くにん

1403 鬼  
鬼難 くにん

1404 鬼  
鬼難 くにん

1405 鬼  
鬼難 くにん

1406 鬼  
鬼難 くにん

1407 鬼  
鬼難 くにん

1408 鬼  
鬼難 くにん

1409 鬼  
鬼難 くにん

1410 鬼  
鬼難 くにん

1411 鬼  
鬼難 くにん

1412 鬼  
鬼難 くにん

1413 鬼  
鬼難 くにん

1414 鬼  
鬼難 くにん

1415 鬼  
鬼難 くにん

まけいしゆら  
魔戒 まめつ  
魔王 まわう

11 魚部

いご  
人魚油 にんぎよの  
あぶら

11 鳥部

1436 鳥  
鳥養院 とりかひの  
あん

1437 鳳

鳳皇御輿 ほうわん  
のみこし

1439 鳴

鳴たはふる なぎた  
はひよ

1447 鶯

鶯宮 えるんあう

1448 鶯

鶯宮 えるんあう

1449 鶯

白鶯 はくさ  
鳥鶯 ささ

鶯

1452 鶯

鶯宮 へんじやく  
白鶯 はくさち

12 葦部

1449 葦

葦帝 くわうてい

12 黒部

1449 黒

黒くろ

14 齊部

1488 齊(奇)

齊威王 さいのあわ

17 龍部

1494 龍(竜)

竜 りゆう  
竜 りゆう

【附記】

本索引を作成するにあたり、  
小林芳規先生には誤りの指摘を  
始めて多く、御教示をいただいた。  
また、金員のオクを始めて種  
々御教示をいただいた。記して  
厚く御礼申し上げます。

【第一輯 訂正】

(誤)

二九頁 第三段 43

あんたうじ

行願寺 二五頁

(正)

① 二九頁 第三段 43  
あんたうじ(草書)

行願寺 二五頁

② 二九頁 第三段 43  
あんたうじ(行願寺)

行願寺 二五頁